

## セミナー報告

### 令和7年度 男女共同参画セミナー③

## 『LGBTQ+のユース(子ども・若者)にとっても安全な居場所を作るために～今、私たちにできること』

開催日 令和8年1月17日(土) 10時～12時

会場 ルミナス 第1・2・3会議室

講師 いわし まなか  
岩橋 愛佳さん

(NPO 法人 Proud Futures 監事/弁護士)



< 講師プロフィール > 平成28年司法試験合格後、岡野法律事務所福岡支店に入所。令和元年より「結婚の自由をすべての人に」(いわゆる「同性婚訴訟」)の弁護団員。令和3年度より現在まで福岡県弁護士会 LGBT 委員会副委員長。LGBTQ+のユース支援を行う NPO 法人 Proud Futures の監事。

LGBTQ+に関する講師として、企業や福岡商工会議所、自治体等での研修を多数実施。福岡県弁護士会 LGBTQ+電話相談の相談員を担当。

### 《セミナー概要》

LGBTQ+の子どもたちは、本当の自分を表に出せず、ひた隠しにしています。もしバレたらどんな目に合うかと不安や恐怖の中で過ごしています。

2023年に、LGBT理解増進法が制定され、学校教科書への多様な性の掲載など、社会的前進がみられる一方で、LGBTQ+のユースが依然として深刻な困難や生きづらさを抱えています。

LGBTQなどのセクシャル・マイノリティのユースを対象とした大規模調査によると、過去1年に中高生の9割が、学校で困難やハラスメントを経験し、うち63.8%は教職員に由来するものでした。10代LGBTQ+の4割がセクシュアリティを安心して相談できる人や場所がなく、その有無が自殺念慮・自殺未遂・自傷行為に影響しています。自分のことを認めてくれる人や、環境があるかどうかは、命にかかわるものであり、セクシュアリティについて安心して相談できる場所の存在が、LGBTQ+のユースの自殺予防に重要な役割を果たしています。

私たち大人にできることは、LGBTQ+に関して批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしないことです。意図的に差別しようと思っていなくても、無意識にいないもの扱いしていることによって、抑圧や排除になってしまいます。常に、自分で無意識の偏見はないかな？自分の考えの背景に特権性はないかな？と意識することが大切です。

もし、誰かにカミングアウトされたら、本人の告白をありのまま受け止め、「これから、今感じていることが変わったとしても、私との関係は変わらないよ。ずっと、安全基地としてここにいるからね。」というメッセージを伝えることが大切です。

当事者でない、当事者を支援する人のことを「アライ」と言ったりします。みなさん、一人一人がアライになることで、それがユースにとっての居場所作りになります。と結ばれました。

## <受講生の感想> ※一部抜粋

- ・ 今は、LGBTQ+の方々には、生きにくい世界だと思いました。特別扱いされない世の中になることが理想なのですね。基本的人権が守られることが大元にあると感じています。
- ・ LGBTQ+について、今まで意識して考えたことがなかったから、知った上で生活していくことは、全員にとって大切な事なのだと考えさせられました。
- ・ LGBTQ+とは?基本的なことを知ることができた。誰にも人権はあり、認められるものなので、今回は性について学ばせていただきました。自殺者が出るなど悲しいことなので、大人(偏見があたりまえの時代に育った人)が理解を深めなければと思いました。
- ・ LGBについてはなんとなく知っていましたが、TQ+については初めて知った。今思えばそうだったのだろうという知人や友人が何人かいるので、身近にこういう人が結構いるのだと実感しました。
- ・ 情報はどんどん変化していて、今はLGBTQ+となっていることを初めて知りました。友人にLGBTQ+の人がいて、やはり会社、家族には絶対話せない。と言っていたことを思い出しました。セミナーに参加し、新しい情報を得ることができてよかったです。
- ・ これまで当事者の方の話聞く機会が多かったです。今日のように支援者側、弁護士の方の話は理解が進むひとつのやり方だと思いました。  
今日はユースの話聞いて、特に学校現場の理解を勧めるべきだと思いました。
- ・ LGBTの他にQ+ということがあることを知った。「自分にもあてはまる」という話がいくつもあり、気づかされたい機会になりました。
- ・ 「発言しないと、いないものとして扱われてしまう」そうだなと思いました。
- ・ 各個人の性自認の多様性がよくわかりました。LGBTQ+の当事者の人に対して、否定的な態度や傷つけたりすることのないようにしたい。そのために、この問題を正しくよく理解したいと思いました。
- ・ Q+といったワードを知った。枠に入れる(2択)、多数派の教育や思想が定着している世の中で性における心の安泰は、法制度の改革を進めていくのが、当事者の救済となり、社会に生きる肯定感が大きいことだと感じました。
- ・ LGBTQ+の言葉はよく聞かすが、実態を詳しく聞く機会がなかったので、今日はこういう話を聞く機会ももてて、理解を深めることができて、よいセミナーでした。資料があるとよかった。
- ・ 今後は苦手意識をもたず、素直なまっさらな気持ちで「まずは聞いてみよう」ということが大事だと反省しました。一部ではありますが、少しだけ分かった気分です。自分が無意識に笑ったり、差別したりしていなかったかと、ゾツとしています。
- ・ 自分の中に無意識にある男女の分けかたを考えました。

